

第1回 栃木県立益子芳星高等学校 学校運営協議会 報告

開催日時 令和3年6月25日(木) 14:00~15:50

開催場所 本校会議室、各教室 等

出席委員 岡 良一郎 佐久間藤也 大森 威樹 加藤 義勝
大塚 昌哉 篠原 泰三 佐藤 広志 君島 芳一

1 開会

2 学校長挨拶

平成31年度にコミュニケーションスクールが導入されこの協議会が立ちあがった。今年度もコロナ禍で様々な制約がある中で、6/4にコロナ対策を十分にとって無事に球技大会を実施できた。今年度も地域と協力して魅力ある学校づくりに取り組んでいく。

3 栃木県教育委員会挨拶

学校が抱える課題は多様化、複雑化している。生徒の豊かな成長のために地域とともにある学校づくりが有効。地域に育てられるという強みがある。地域や保護者のニーズをいち早くつかむ。

4 出席者紹介

紙面にて

5 確認及び承認

(1) 会則の確認 資料1、2のとおり

(2) 委員の確認 資料3のとおり

訂正 任期期間 令和3(2021)年4月2日→5月12日

(3) 会長・副会長の選出

6 報告事項

(1) 令和2年度活動状況報告 資料4のとおり

(2) 本校の現状と課題について

生徒の出身は、益子町28% 真岡市37% 芳賀地区34% 地元の生徒が多い。通学方法は自転車57.7% 真岡鐵道など25.1% 送迎17.2%。生徒数449名の内訳は男子170名、女子379名。女子が多いからか休み時間はとても賑やかである。R2の進路実績は進学55.5% 就職38.0%。専門学校への進学が多い。

特色は「生徒ひとりひとりの進路実現のために設置されたコース別学習」「将来につながるライセンス教育」「地域とのつながりを大切にする社会貢献活動」の3つ。コース制については現在の3つのコースを教育課程が変更になるR4年度に6コースにリニューアルする。「未来を創る高校生・地域連

携推進事業」の3年間の指定を受けた。

部活動の加入率は53.95%(運動部30.92% 文化部23.03%)なので、もう少し上げたい。

特色選抜についてはR3に定員を30%にしたので、1.34倍になった。R3までは面接・作文・独自検査で実施していたが、R4からは面接・作文のみ。この2項目を重視して強い意志を持つ生徒を選抜したい。一般選抜についてR2は定年割れしたが、R3は1.0倍。課題は人口減で中学生が減っている中、いかにして志願者を確保していくかである。一日体験やHPなどで積極的な情報発信をして特色をアピールしていく。

○地域連携活動について

・R3.3.30 益子町と包括連携協定を調印。このニュースは真岡新聞や下野新聞に取り上げられた。乳幼児ふれあい体験や陶器市ボランティアなど長年続く町との連携、今までに取り組んできたことの明文化。町の施設等の活用ができる。ましこ町民大学の後継としてましこ未来大学(MFC)がスタート。昨年度の反省をいかして、アドバイザーの方に事前に生徒の実態を紹介。高校生に臨む支援の在り方としての研修を行った。

・高校生が興味を持っていること、考えている課題と益子町の課題を組み合わせグループごとにアクションプランを考える。

・高大連携事業ができないので大学側に出前事業をしてもらって、商品開発、加工品のアレンジレシピ、マップやポップづくり等を行う。

高校	×	道の駅	×	大学(文星)
----	---	-----	---	--------

・「未来を創る高校生地域連携・協働推進事業」

ラボとコラボによるましこラボ(地域に貢献、地域を創生できる人材育成)

1年生 触れる 2年生 関わる 3年生 協働する

・10/14にパワーポイントや模造紙を使用しての発表会を実施。今年度は1年生にも見学してもらって、コース選択の参考にしてもらう。

地域と繋がることによって、学校で学んでいくことの価値を感じられるようになる。

7 協議

(1) 令和3年度学校運営方針について 資料5のとおり

○高校が地域ではたす役割がスクールミッション・スクールポリシーとして4つの柱が明確に記されている。

(2) 益子芳星高等学校の魅力化、特色化に関する意見交換

○授業を見学して、生徒はタブレットなどの操作に慣れていると感じた。

○サッカー部が過去に2回、関東大会に出場して地域の人が喜んでいた。

部活が盛り上がるのは良いことで、中学生が高校に行って〇〇部で頑張

- りたいと思ってくれれば嬉しい。
- 以前は1年生が全員部活加入だったので数値は高かったが質がそれほどでもなかった。専門性をもった教員もいる。今まで勝てなかった部活も一勝できたなどの報告もある。
 - 昔は服装の乱れている生徒は問題児だったが、今はそうでもないのではな
いか。制服で学校を選ぶ中学生もいる。数種類のバリエーションがあれば、
生徒も学校に来る楽しみがある。冬は寒いので女子もスラックスがはけると良い。
 - 女子もスラックスを選択することは可能。実際に着用している生徒もいる。
服装指導はボタンをきちんととめよう等の身だしなみの指導をしている。
 - ボランティアに一生懸命取り組んでいる。MFCに期待している。どのような
成果が出るか楽しみである。
 - 益子町のカフェは若い人に人気があって遠方からもお客さんが来る。有名
なカフェの人や人気の陶芸家など、ますます活気のある授業を生徒達が受
けられると良い。
 - もっと外をみる目が必要。全国にある道の駅がどんなところがどんな風に
良いのか等、外に好奇心を向けてほしい。世の中に目を向けると自分のお
かかっている場所がよく理解できると思う。
 - 中学生に学校を選んでもらう条件として、通学方法は重要。原付を認めて
もらえれば保護者の送迎の負担が減らせると思う。
 - 交通事故や許可する距離などの条件など検討事項が多い。
 - 生徒たちの若い観点からの問題の切り込み方が良い。しかし時間の制約か
らか解にたどり着けないものもある。継続して見届けられると良い。
 - コスプレによる案内など、生徒達がやりたがっていた企画もルールづくり
などの問題が解消されないで中止になった。
 - （学校を見学して）中学生の時に挨拶のできなかつた生徒が、きちんと出
来るようになっていた。自立に向かっていると時間できた。
 - R7 ぐらいには事業全体が町ではなくて高校に移行してくる可能性がある。
 - 地域だけでなく県外から益子芳星を選んでもらえるような充実を期待し
たい。

8 その他

第2回は10月に実施予定 探求の発表会に合わせて実施。